



11～1月に市内で行われたイベントについてお知らせします



足尾駅のイルミネーション

わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション
12月4日(日)から、毎冬恒例のわたらせ渓谷鐵道のイルミネーションが始まりました。市内の4つの駅その他、群馬県内も含めた沿線の全ての駅が電飾で彩られ、幻想的な光景が広がっていました。イルミネーションの点灯は、2月28日(火)まで毎日開催しています。



ゆずの香りで満たされた露天風呂

ゆず湯風呂キャンペーン
12月16日(金)・17日(土)の両日、市観光協会鬼怒川・川治支部は、ゆず湯風呂キャンペーンを行いました。今年で20回を迎えたこの催しは、邪気を払い健康を祈願し、同支部加盟の宿泊施設など約60カ所がゆず湯風呂になるものです。川治温泉「祝い宿寿庵」では、ひと足早い14日(水)に約1,000個のゆずを浮かべ、PRをしました。

かき
日光牡蠣まつり

11月26日(日)～12月19日(月)の24日間、道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣で、日光牡蠣まつりが開催されました。期間中は約5,000人の市民や観光客が訪れ、冬の味覚を味わいました。

来場者は、熱々プリプリに蒸し焼きにされた三陸産の新鮮なカキや、東北地方産のホタテ、エビなどの海産物と合わせ、個性豊かな日光のおいしい地酒に舌鼓を打っていました。



熱々のカキと海産物



豊岡運動公園をスタートする中学生

市駅伝競走大会
12月18日(日)、「第11回日光市駅伝競走大会」が開催され、一般の部・支部対抗に7チーム、オープンに10チーム、中学生の部に11チームの計28チームが出場しました。
午前10時に一般の部が日光総合会館を、10時42分に中学生の部が豊岡運動公園をスタート。今大会からコースが変わり、鬼怒川バイパスの3D宇宙恐竜館を折り返し、轟工業団地、荊沢公民館前を通り、今市運動公園のゴールを目指しました。一般の部は7区間28・5km、中学生の部は6区間15・9kmを走り、ランナーは沿道からたくさんの方の声援を受け、懸命にタスキをつなぎました。



一般の部・支部対抗で優勝した今市

たときは気持ち良かったです」と爽やかな笑顔で答えてくれました。主な成績は、次の通りです。

【一般の部・支部対抗】
○優勝 今市(1時間35分16秒)
○2位 大沢(1時間37分38秒)
○3位 落合A(1時間43分12秒)

【中学生の部】
○優勝 大沢中学校A(57分52秒)
○2位 今市中2学年A(58分44秒)
○3位 藤原中学校A(59分29秒)

【区間賞】(支部対抗・敬称略)
狐塚崇宏(日光)、佐藤喜巳(大沢)、中村俊哉(今市)、寺島侑作(今市)、杉浦天晴(今市)、舟川さくら(今市)、加藤修平(落合A)

【区間賞】(中学生・敬称略)
柏崎陽(藤原中学校A)、鈴木そら(今市中2学年A)、那須野留依(大沢中学校A)、滝澤愛弥(藤原中学校A)、森澤颯大(藤原中学校A)、岩崎龍空(今市中2学年A)



平成29年日光市成人式

1月8日(日)、市の成人式が市内5カ所の会場(今市文化会館、日光総合会館、藤原総合文化会館、足尾庁舎、栗山行政センター)で行われ、合わせて709名の新成人が出席しました(市の新成人者数865名)。それぞれの会場では、晴れ着など華やかな装いの新成人が友人との再会を喜び、写真を撮るなど、にぎやかに談笑する姿が見受けられました。

106名が出席した日光地域では新成人を代表し、佐藤愛実さんが「これからは今まで支えてくださった方々への感謝を込めていろいろなことに取り組んでいきたい」と抱負を述べました。

式典後のアトラクションでは、小中学校時の懐かしい写真や当時の担任の先生からのサプライズメッセージがスライドで流れる

と、会場は笑い声が上がったり、どよめきが起こったりと、終始穏やかな雰囲気になりました。

一方、午後から式が行われた藤原地域では、57名の新成人が出席。竹之内航さんと阿久津由夏さん、阿久津彩さんが新成人としての抱負や決意を誓った青年の主張を行いました。

式典後のアトラクションでは、思い出のスライドショーの上映や、出席した恩師から心の込められたメッセージが語られると、何度も歓声が上がりました。

また、タイムカプセル開封の際、恩師から手紙や作文などが手渡されると、懐かしい作品に「こんな記憶ないよ」と友人と見せ合ったり、写真を撮ったりと、会場にはいつまでも笑い声が響いていました。

今月の表紙

日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会



果敢に攻め込む栃木県選抜選手

12月24日(土)～26日(月)、日光霧降アイスアリーナと細尾ドームリンクを会場に、JOCジュニアオリンピックカップ大会第11回日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会が行われました。今回大会から、JOCジュニアオリンピックカップ認定大会となり、全国から13チームが出場し、苦小牧選抜が優勝を勝ち取りました。

栃木県選抜は、24日の1回戦で兵庫県選抜と対戦し、FW高橋選手が先制シュートを決めたものの、1対4で逆転負けを喫してしまいました。

その後、愛知選抜に勝利し、9位決定戦として青森選抜と対戦し、善戦するも0対7で敗北し、10位となりました。



激しい壁際の攻防



司会を務める実行委員(日光)



笑顔で再会(日光地域)



佐藤愛実さん(日光)



式典の様子(日光地域)



式典の様子(藤原地域)



タイムカプセル開封(藤原)



竹之内航さん(藤原)



高橋ひかる実行委員長(藤原)